



知ることからはじめませんか



歴史の中で、牛馬の処理等を生業とした人たちは、ひどい差別を受けていました。先人たちは、革製品を作る際にできる「膠（にかわ）」を発見し、今日では、先人たちの知恵が、私たちの身近な食べ物にも使われています。次のどれでしょう？

- ア. マシュマロ イ. ビスケット ウ. ラムネ

(参考：DVD東映シリーズでみる人権の歴史 (2020)「ひとと皮革（かわ）の歴史」)

正しい知識を持ちましょう

次のような言葉を聞いたことはありませんか。

「同和問題はよくわかりません。それに知らなくても別に困りません。」

「そっとしておけば自然に差別はなくなるのでは。教えるからなくならないと思います。」

関係者の長年の努力と市民の理解で同和問題は解決の方向に向かっています。しかし、正しい知識がないと、昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまいやすく、インターネット等にある不確かな情報やうわさ話を広めてしまうことになり差別に加担してしまいます。差別のない幸せな社会をつくるために、私たち一人ひとりが自分自身の問題として考えていきましょう。

そのために、まずは、学校・地域・職場等で行われている研修会で、正しい知識と情報を得ることからはじめてみませんか。そして、差別や偏見のない社会を実現するにはどうすればよいか、一人ひとりが「わがこと」として考えていきましょう。

何時かもんぺをはいて バスに乗ったら 隣座席の人は私を おばはんと呼んだ 戦時中よくはいたこの活動的なものを どうやらこの人は年寄りの 着物と思ってるらしい よそ行きの着物に羽織を着て 汽車に乗ったら 人は私を奥さんと呼んだ どうやら人の値うちは 着物で決まるらしい 講演がある 何々大学の先生だと言えば 内容が悪くとも 人々は耳をすませて聴き 良かったと言う どうやら人の値うちは 肩書きで決まるらしい	人の値うち 江口いと 名も無い人の講演には 人々はそわそわして帰りを急ぐ どうやら人の値うちは 学歴で決まるらしい 立派な家の娘さんが 部落にお嫁に来る でも生まれた子供はやつぱり 部落の子だと言われる どうやら人の値うちは 生まれた所によって決まるらしい 人々はいつの日 このあやまちに気付くであろうか 「江口いと人権の詩」 明石書店
--	---